

河辺林通信

建部北町の森から

2017年2月号 No.226

↑クヌギの冬芽

森のお正月

ついこの間、年が明けたと思っていたら、あっとい
う間に1ヶ月経ちましたね。みなさんお正月はどのように
過ごされたのでしょうか。お正月にまつわるものは、



すべてにおいて意味があります。五穀豊穣を祈願する「繭玉」、長寿や健康を願った、松竹梅のお飾り、代々繁栄するように橙を、そして親が成長した子どもに代を譲るのにたとえてユズリハが今年も野神さんに供えられました。本年もどうぞよろしくお願いします。

モリイコ！の子どもたち

9回目の「モリイコ！S」は新年早々だったので、まずは野神さんのお詣りから。ミッションも森でお正月！双六、けん玉、コマ、竹ぼっくりなど、自分達で作って遊びました。双六作りでは、フクロウを見つけた3マスすすむ、キツネに会って観察するために1回休み、などモリイコならではの観点から、とーっても盛り上がるものができあがりました。

また平安時代から行われていた早春の若菜摘みを行い、野草がゆもみんなで美味しくいただきました。今年一年、元気に過ごせますように！



森の野草がゆ

七草がゆを食べましたか？早春の頃、一番に芽吹く野草を摘み、その一年が平和で健康に暮らせるためにと意味がこめて七草がゆを食べると言われています。モリイコでも野草がゆを作ろうと、スタッフが選んだ野草は5つ。春の七草にも入るハコベ、あとはタンポポ、ヨモギ、ミツバ、クレソンです。最後のクレソンは、もしかしたらオオバタネツケバナかもしれません。若葉だけでは区別しにくく、実や、夏に成長した時の大きさなどで判断するようです。どちらにしても食べても大丈夫なもので少しピリッとする味が意外とクセになりました。

野草を食べられる際は、図鑑を見たり、植物の詳しい方と採取してくださいね。



モリイコ！は雪！ウサギの足跡を追って森の奥へ！他にもキツネの足跡、ウサギのフンも見つかり、子どもたちは生き物がいる証拠を目の当たりにし、いつも以上に大興奮でした。たくさんの雪を使い、かまくらや棟などをみんなで協力し、工夫し、わちゃわちゃ言いながら作っていました。

午後は、かわべの足湯温泉。自分達でたき火をし、石を焼いて6°Cの水から45°Cのお湯に温めました。寒い中、足も心も温まりました。

●1月の作業だより

第2土曜日（1月14日） 21人

① 植物いたわり班 定点観測している植物が、しっかりと育っているかのチェックと、才カトラノオの乾燥していた種をさやから出す作業を行いました。

② 薪づくり班 小雪舞う中、テントの下で杉の薪割を行いました。また、カシの細い枝をノコギリで切つ柴作りも行いました。

③ お昼ご飯班 お正月料理の黒豆、田作り、酢ゴボウに、熟々の豚汁、白菜やかぶなど美味しくいただきました。また、鏡開きでいただいたおもちは、せんざいにし美味しくいただきました。

梵釈寺（1月19日） 14人

ナラの木の伐採を行い、薪にしました。その薪を置くための薪棚を作るためにスギの木や竹の伐採を行いました。

梵釈寺の裏山にはイノシシを捕獲するための檻にが設置されているのですが、あと一歩で捕獲されるというギリギリの線まで工サを取りにきていました。動物たちもかしこいですね。



第4水曜日（1月25日）

月曜日から降り出した大雪のため、活動は中止しました。

2月の活動日

2/2 (木)	木まま 林内整備
2/11 (土)	竹伐採 落ち葉かき 草刈り (雪次第です)
2/16 (木)	木まま 梵釈寺
2/22 (水)	竹伐採 林床整備

朝 9:00～(遅刻可)

第2土曜日は、9:00より
1時間ほど観察会を行います

1月観察会



新年のあいさつをし、イスに座って始まった観察会。テーマは「雪」。雪は、シベリア大陸から吹いた風が、日本海の上を通る時に水蒸気を含み、湿気を含んだ雲ができます。その雲がだんだんと大きくなり、山にぶつかり、雲が上昇し、上空で冷やされた氷の粒が雪となって降ってきます。滋賀県はさらに琵琶湖からの水蒸気も雲が吸収するので、伊吹山では世界最深積雪記録と日最大降雪量世界一と雪に関する世界記録が2つも！守山に住んでいた私は、そんなに降るのかとビックリしました。「たしかに昔はもっと寒かったもんなあ」「あの年はようけ降ったな」など、雪の日の記憶が次々に思い出されました。また、水は凍る時に六角形の結晶になり結晶が大きくなる時の空の気温や湿度で、形が変わります。私たちが想像する樹氷型の結晶は、上空の気温が高く湿り気が多い時にできるそうで、気温が低く湿り気が少ないと柱のような形の結晶になります。

外に出て虫眼鏡で雪を見てみましたが、すぐ溶けてしまい見られませんでした。



森のスタッフブログ

今年から河辺いきものの森のスタッフのブログである「かわべえフォトログ2」(<http://kawabee2.cocolog-nifty.com/blog/>)の更新頻度があがりました！

ほぼ毎日、森のことを中心にお伝えしております。

また、ブログで写真を使用するため、カメラの勉強会を開いていただけました。まだまだ、カメラについては素人なので、なかなか良い写真を撮影することが出来ません。しかし、多くの写真を撮影して、上達していくたいと思っているので、たくさんものを撮影し、練習していくこうと思います。

これまで、更新頻度が低かった「かわべえフォトログ」ですが、今年はたくさん森のことをお伝えしていくこ

うと思います。

また、森のことだけでなく、私の写真の上達具合もブ

ログを通して楽しんでいただければ嬉しいです。



使用した写真→

編集後記

表面にも書きましたが、植物とお正月行事の関係を調べていると、様々な願いや祈りを植物に見立てて祀る、日本の文化には植物はかかせないものなんだと改めて実感しました。意味を知ることで、受け継がれてきた文化や伝統の大切さも知ることができました。 吉岡

【発行者】

特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事 井田三良
〒527-0003
滋賀県東近江市建部北町531
河辺いきものの森内
電話：0748-20-5211
メール：ikimono@e-omi.ne.jp